

看護学科カリキュラム・ポリシー

看護学科のディプロマ・ポリシーの達成を目指し、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成し、学修効果を適切に評価する。

1. 豊かな人間性と高い倫理観、多様性への適応力の涵養に必要な教養科目を、4年間を通して学修できるようにバランス良く配置する。
2. 看護の対象となる個人・家族・地域社会の人々それぞれの成長発達段階及び健康段階に応じた看護を実践できる能力を高めるために、看護専門分野科目を系統的かつ段階的に学修できるように配置する。
3. 地域で生活する人々とその生活・看護実践の実際を早期から学修できる科目を配置する。
4. 看護実践者に必要な知識・技術・態度を段階的に獲得できるように、関連する内容は講義科目・演習科目・実習科目で構成する。
5. 演習及び実習科目は、学生ひとり一人の個別性に応じて学修できるように、少人数の学生に教員1名を配置する形態で授業を展開する。
6. 自主的かつ自律的に学修できるように、自習時間を適正に組み込んだ時間割を編成する。
7. 学修成果は、小テスト・課題、定期試験・レポート試験など複数の方法を用いて総合的に評価する。また、各授業終了時の感想・意見および全授業終了後の学生評価アンケートなどの学生による評価を授業改善に取り入れ、学生・教員双方向の授業を展開する。